

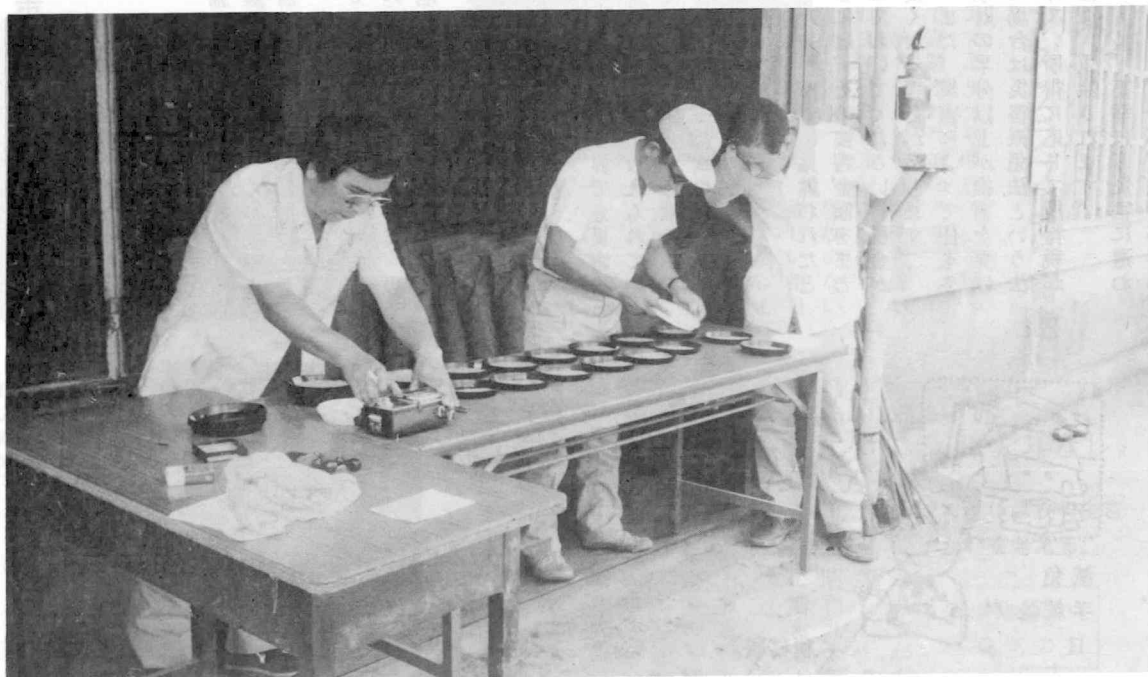
広報たしる

No. 334

昭和56年 9月号

田代町総務課編集

1,500部発行



早期米が自主流通米と

して初出荷される!!

早期水稲の収穫が終り、自主流通米として県内をはじめ、遠くは東京、名古屋方面へ出荷されています。今年の早期水稲は近年にない、よい天候に恵まれ、又農家の生産意欲が高く田植を早めたことと、病虫害防除の徹底により、品質、収量共に最良の年でありました。

又価格の面でも県産コシヒカリは、等級も上がり、奨励金が大巾に引上げられ生産農家の所得向上がはかれました。銘柄米として出荷される田代米を全量共販して生産者自ら食糧制度を守りましょう。



田代町の観光案内を
一目に!!

観光案内板設置される
田代町を訪れる観光客のみ
なさんのために、一目で田代
町の観光内容がわかるように
今年の七月、大根田入口に観
光案内板が設置されました。
わかりやすい絵と文字で作
られており、田代町を訪れる
みなさんが、車をとめてよく
見ていらつしやいます。



広報たしろ

昭和56年 9 月

交通安全標語板

大根占ライオンズクラブより寄贈

田代町中央運動場駐車場に
交通安全標語板が設置されま
した。
これは大根占ライオンズク



ラブより交通事故防止を願っ
て寄贈されたものです。
秋の交通安全運動も実施さ
れます。安全運転に心がけ、
事故のない
楽しい毎日
をすごしま
しょう。

人生に
定年なし
おとしよりの生き
がいを考える。

9月15日は
敬老の日

いま、百人のうち九人が六
十五歳以上のお年寄り——こ
れが三十四年後の昭和九十年
には十八人と二倍に増えると
予測されています。
三十四年後に六十五歳にな
る人、つまりお年寄りの仲間
入りをするのは、いま働き盛
りの三十一歳。よく言われる
高齢者問題というのは、なに
もお年寄りだけの問題ではな
く、若い人たちのやがて直面
しなければならぬテーマで
あり、そして社会全体の課題
でもあるのです。
同時に、わが国人口の高齢
化は、諸外国に例を見ないテ
ンポと規模で進むことも、あ
わせて考えておかなければな
らない問題です。
九月十五日は「敬老の日」
また、この日から一週間は老
人福祉週間です。
人生に定年なし この機
会に老人の生きがいとは、よ
き老後とはについて考えてみ
ましょう。



雑巾・ホーキを
寄贈

田代町老人クラブの皆さん
夏休み最後の八月三十一日
田代町川原地区の老人クラブ
のみなさんより、田代小学校
及び田代中学校へそれぞれ、
雑巾五十枚、ホーキ三十本づ
つが寄贈されました。
老人のみなさんが、一本、
一枚ずつ手作りしていねいに
仕上げられたものです。
小・中学校のみなさん、大
切に使ってください。

広報たしろ

昭和56年 9 月

「ふるさと」訪問

優良勤労青少年に
よる出身地訪問

八月十七日、岐阜県より田
代町出身の川路恵美子さんが
「ふるさと訪問」のため役場
へおいでになりました。
これは岐阜県が、職場にお
いて優秀な成績で勤続してい
る青少年を出身地へ訪問して
もらい、日ごろの労をねぎら
うために実施しているという
ことです。



川路さんは、猪鹿倉の出身
で現在は、岐阜県の株式会社
山加商店で働いていらつしや
います。
(詳しくは五ページに掲載)

市来町議会研修

視察のため来町

猪鹿倉地区圃場整備

大規模な圃場整備事業が実
施された猪鹿倉地区を市来町
議会議員のみなさんが視察の
為田代町を訪問されました。
当日は、役場、猪鹿倉集落
センターにおいて、事業内容
の説明がなされ、その後、現
地を視察されました。

災害を受けたときは
税の減免手続を

わが国は、世界でも災害の
多い国の一つに数えられてい
ます。中でも夏から秋のシー
ズンにかけて台風や大雨等に
よる被害が毎年のように各地
で起っています。
万一、災害に見舞われたと
きは、その被害金額をまと
めておいてください。税金が
安くなる場合があります。
また、災害によって住宅や
家財の半分以上が損害を受け
た場合は災害減免法という法
律で、所得に応じて所得税が
軽減、免除されます。
もし、不幸にも災害に遭わ
れた方は、一応、生活が落ち



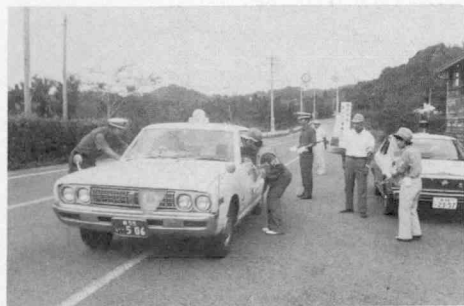
税務署



交通安全

アメ玉作戦

交通安全協会のみなさんに
よる「アメ玉作戦」が八月十
三日実施されました。
真夏の強い日射しの中、運
転者への安全運転やシートベ
ルト着用の呼びかけ、運転中
の一休みなどをかねて行われ、
県外からの車も多い中、大変
好評のうちに終了しました。



交通安全協会会員による
アメ玉配布風景

町政20周年記念町民運動会

10月10日(土)

町制20周年を祝い、町民のみなさん全員の参
加をいただき、盛大に実施いたしましょう。



昭和56年度 自衛官2等陸海空士志願案内

- | | |
|--------|---|
| 1 受付期間 | 常時受付 |
| 2 応募資格 | 日本国籍を有し、採用予定月の1日現在18才以上25才未満の男子 |
| 3 志願手続 | 志願書類の請求及び提出先は、町役場または鹿屋募集事務所において取扱っています。 |



一坪農園での作業

教育だより

一坪農園

田代中学校

三年生で四月から、学校のあき地を開墾して農園作りをはじめた。もう大きなきゅうりやなすがごろと実をつけている。一部の生徒の声を聞いてみたいと思う。

牧原 克幸
僕達が畑を作り始めたのは四月の中ごろからだ。斜面を切りくずし、自分達の畑を作った。広さこそさまざまだが、僕達の希望は大きかった。

今度はそこに作物の苗を植えた。これも僕達が種子から

四月の半ばから、毎日毎日畑作りをしました。四月といっても、もう暑く汗にまみれてやりました。草を取り、根をよく引き抜き、土をふるいにもかけました。そして肥料をやり、前からビニール鉢で育てていた作物を、畑に移した。最初は、水を毎日やり大

小組合ソフトボール大会
今年は九月二十三日(水) 秋分の日です

この「ふるさと訪問」は、岐阜県労働対策協議会(岐阜県副知事が会長)が十年程前から実施している行事のひとつです。岐阜県では、県外から就職し、三年以上勤続している青少年の中から優秀な人物を選び、この方々の日ごろの労をねぎらうために「ふるさと訪問」をしていただいている。今年は十四道県の出身者の中から十八名を選んだとのことでした。

川路恵美子さんのようなりっぱな勤労青年を社会に送り出したことを、田代分校としてはおもろい、田代町民としても誇りにしたいと思います。



左より2番目が川路さん

去る八月十七日、当校卒業生の川路恵美子さんが、岐阜県からの「ふるさと訪問者」として田代分校、役場を訪問されました。

ふるさと訪問

田代分校卒業生 川路さん

川路さんは、田代町川原出身で、昭和五十三年三月、田代分校を卒業し、同年四月岐阜県土岐市の株式会社山加商店に就職されました。

切に育てた。見る度に大きくなるのがうれしくて、一日に何回も見に行く事もあった。今では、トマトやキュウリが実をつけている。トマトは生長がよく自分と同じくらいの高さになろうとしている。

生物が芽を出したときの喜び、実をつけたときの喜び、ほんとうにやって良かったと心から思った。

畑作りを通じて、農作業の苦しみ、楽しさをあらためて知りました。

たらいのようでしょうか、血管の老化は、小麦・米の精米技術が発達した江戸時代中期頃からと言われて居ります。これは、米・小麦の重要なビタミンB1・B2を取り除いて食べ

ている現在の食事の一つの原因ではないでしょうか。又栄養価の高い物、うまい物、そして欧米化と日本の食生活が変化した結果、アレルギーをおこしやすい身体に変えてきたその一つの要因ではないでしょうか。例えば子供に牛乳を水がわりに一日七〇〇ccも

一も飲ませる親もその例だと思われま。又足りない物を補い余っている物は捨てるという考えからいけば、病気をしない食生活の条件は第一に砂糖、塩のとりすぎはひかえましょう。第二に米に雑穀(麦など)を入れて食べましょう。第三にビタミンE(大豆・小麦・ごまなど)をとりましょう。第四にビタミンC(だいこん葉、ほうれん草、パセリ、こまつ菜、ピーマンキャベツ、みかん類、はくさいなど)を食べましょう。第五に繊維を食べましょう(だいこん、人参、れんこん、いも、こんにゃく、竹の子等)第六にミネラル(野菜、海草

類)をとりましょう。その他魚・卵・豆腐・豆類等の蛋白質を補った食生活をする事が大切です。それにもまして大事な事は生きる気力、気分をリフレッシュ(いらいらしい、カッカしない等)して毎日過ごすことが大事です。そして自分に合った運動をする。つまり無理をせず毎日少しずつでも続けられる運動をして、少しでも健康な毎を送りたいものです。

家で飼うペット

最低限の

マナーを守ろう

動物愛護週間

九月二十日～二十六日

生命の尊さを知る、生き物に対する思いやりの気持ちを持つ生る——犬や猫など動物とつき合うことで、わたしたちの心は豊かになっていきます。

とくに子供にとっては、動物とのつきあいを通じて、誕生ー成長ー死という生命現象を目のあたりにすることができ、貴重な情操教育の一つとなります。

九月二十日から「動物愛護週間」が始まります。これを機会に、わたしたちと動物とのかわり合いをもう一度考えるとともに、家庭でペットを飼う場合には次のことに注意をするように努めましょう。

へ他人に迷惑をかけない
世の中は動物が好きで人ばかりではありません。かわいペットでも他人から見れば騒がしかったり、こわかったりする場合があります。特に犬を飼う場合、一、放し飼いにしない。

二、運動させる時は必ず綱か鎖をつける。

へ飼ったら最後まで
五十三万一千五百六十——これは昭和五十五年度中に、全国の保健所などに引き取られた犬の数です。

鳴き声がうるさくなったとか、乱暴になったという理由で簡単に手放さず、飼主の態度も見直してみよう。一度飼ったら最後まで飼主の責任を全うしたいものです。



保健だより

病気をしないような食生活に変えるには、

三十七、八才を境に成人病と言われる高血圧、心臓病、糖尿病等が蔓延しており、さらに慢性の肝炎・腎炎、関節リウマチ等もふえてきている現状です。そこで今まで忘れ去られて来た健康法を取り戻す為には、日本人は何を食べ

たらよいのでしょうか、血管の老化は、小麦・米の精米技術が発達した江戸時代中期頃からと言われて居ります。これは、米・小麦の重要なビタミンB1・B2を取り除いて食べ

人口動態		前月との増減	
基本	台帳	人口	増減
56年8月1日現在			
男	2163人	3人	
女	2359人	9人	
計	4522人	12人	
世帯数	1469戸	△4戸	

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

香てん返し

田代町社会福祉協議会
さきに御逝去されました御遺族より香典返しとして、田代町社会福祉協議会へ、多額の御寄附を賜りました。厚く御礼申し上げますと共に御逝去者の御冥福をお祈り致します。

上原 ノリ子様
湯ノ谷 亮 二様
松山 チエ様
桜井 フサ様
上原 範雄様

会活動に積極的に参加して、ペン習字や編物等を勉強され昨年は調理師の免許まで取得されました。

岐阜県多治見公共職業安定所の大沢さんからは、「川路恵美子さんは、会社での勤務成績も優秀ということであったが、若い女性としても魅力的でとても素晴らしい方です。」と、手放しのお賞めのことをいただきました。

田代分校の卒業生は、就職先の企業から、礼儀正しく、勤勉でねばり強いといへん好評を得ています。このことを裏付けるように今年もまた日本を代表するような大手企業からの求人が相次いでいます。ちなみに昭和五十五年度の当校への求人数は、関東関西、中京、地元岐阜県等から一三七〇人となっていました。また、昭和五十六年三月卒業生の就職先を地区別にみると、中京と県内が最も多く次いで関西、関東、九州の順になっていきます。

川路恵美子さんのようなりっぱな勤労青年を社会に送り出したことを、田代分校としてはおもろい、田代町民としても誇りにしたいと思います。

町子ども会リーダー研修会

於県立青少年研修センター



子ども会リーダー研修生

研修に参加して

上久保 美 幸

この研修に参加して、これまでの自分をふり返り、これからの自分を考えてみるよい機会だったと思いました。

研修といっても子ども会のあり方やレクリエーション指導が主で、難しいものではありませんでした。しかし、どれも自分自身が積極的に参加しなければなりません。朝夕の集いや作業なども、楽しくなるか、つまらないかは自分の心がけしだいでした。フィールド・アスレチックの時、

八月二日・三日の両日、小

学校、中学校の各子ども会リーダー、及び高校生の指導者六名の計七〇名が参加して、子ども会のリーダーとしてのあり方や運営のしかたをはじめ、レクリエーションを研修したり、夜はキャンドルサビスを楽しんだりしました。

今年の研修会の特色は高校生を加え、小学校・中学校・高校という「タテ」の年齢集団を組んで研修したことである。小学生が高校生の指導を受けたら、あまえてぶらさがり姿など、ほほえましい光景がみられました。

”小さい子には大きい人ができない子にはできる人が手助けする“

こういう行動が自然にできたのも、この研修の大きな成果でした。

これからの子ども会活動に研修で学んだことを役立てていきたいと思っています。



ボランティア活動を実施

田代町高校学生会

田代町高校学生会（会長、唐仁原賢）では、八月十一日早朝、町内四ヶ所で清掃活動などのボランティア活動を実施した。

北尾神社、招魂墓、若宮神社、花瀬公園を約六十名の高校生がわかれて、草刈りやチリ拾いなどを実施した。

高校学生会は、結成以来三年を経過し、活動も軌道にのってきただうで、今後の会の発展を期待したい。



祝 県民体育大会出場!!

野球肝属地区大会優勝

郡民体育大会を勝ち抜いたオール田代野球チームは、八月一日、八日の両日にわたって鹿屋市西原球場で行われた肝属地区野球大会（兼県大会予戦）に見事優勝し、第19回県民体育大会への出場権を得ました。

オール田代の活躍は最近目覚ましいものがあり、各方面より注目されておりましたが”ついにやった”という感じがします。

県大会は九月十九、二十日の二日間にわたって行われま

また、八月六日（木）高校生ソフト大会が開催され、表

木方面の三年生チーム（ミミズ）が見事優勝しました。

高校生の仲間づくりとレクリエーションを兼ねた大会でしたが、炎天下にも負けじと力いっぱいプレーが続きました。

青年団がんばる

先日行なわれた県青年大会ソフトボール予戦に勝った田代町青年団は九月六日の県大会に向ってがんばっています。

上吹越三夫・水流秀作

榎本雄二・西迫秋美

柳川真一・日高 公

別府 真・中村 貢

田中弘朗・舞原利博

橋口達郎・中島敏和

その他、次のみなさんが県

民大会に肝属地区代表として参加されます。

○バスケット 南園 高樹

○全空連空手 永野 和行

○陸 上 平石加代子

○バドミントン 釘田 圭子

○優勝戦 田代町4-10九州電力

（選手紹介）

監督 田代清邦・

選手 上野義明・山ノ口章

